

戸田市 施策評価シート

作成日	平成30年06月13日	作成者名	山崎 康之	評価者名	安部 孝良
-----	-------------	------	-------	------	-------

1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	05 快適で過ごしやすいまち	中心となる課	上下水道部・上下水道経営課
分野	07 上下水道	関係課	上下水道部・水道施設課
施策	61 効率的な上下水道事業の運営		上下水道部・下水道施設課
施策の目的	上下水道事業の効率的な運営を図るとともに、適切な上下水道料金を設定し、安定した水の供給を行うことによって、市民がいつでも安心して上下水道を利用できるようにします。		

2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	水道料金事業
取り組み②	
取り組み③	
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	H31	H32
上水道料金回収率	上水 供給単価/給水原価 (上水道料金で賄える給水の費用割合)	%	100	88.6	94.5	96			
下水道料金回収率	下水 使用料単価/汚水処理原価 (使用料で賄える汚水処理費用割合)	%	100	85.9	91.9	113.8			
その他施策の取組事項に係る成果									

4. 施策の展開 <ACTION>

課題	<p>水道事業は、今後は施設の老朽化に伴う更新・耐震化費用の増大が予想されるが、現行経営計画期間が平成30年度で終了するため、31年度以降の次期経営計画策定の必要がある。</p> <p>また、下水道事業は平成29年度の使用料改定実施により独立採算となったが、下水道未接続地域の整備促進、既存施設の老朽化に伴う更新・耐震化及び浸水対策等費用の増大が今後予想されることから、下水道ビジョンと経営計画に基づいた効率的かつ計画的な事業経営が求められている。</p>	対応策	<p>水道事業は、次期経営計画を平成30年度中に策定し、その中で今後の事業費用を賄いつつ、内部留保資金を確保し、起債借入額や水道料金等についても検討する。</p> <p>また、下水道事業は平成29年度の使用料改定実施により、料金回収率も目標とする100%を超え、適正な料金収入を確保できるようになった。今後も一層の業務効率化に努める。</p>
----	--	-----	---

○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	料金回収率について水道事業は前年度を上回ったものの、依然として目標には達していない。一方、下水道事業は使用料改定により目標の100%を超え適正な料金水準となった。
B		
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	上下水道事業の人員は、包括的民間委託の導入により平成28年度1名を削減した。当面はこの体制を維持する。また、予算は必要最小限の経費で効果が得られるよう努める。 水道事業については、次期経営計画を策定する中で今後の事業及び財源等を再検討していく。
→		

(評価者コメント)

<p>水道事業は、料金回収率が100%を下回っており給水に係る費用が料金収入で賄えていない状況である。時期経営計画策定に当たり将来の収支を検討していく中で、料金についても併せて検討していく。また、下水道事業は、使用料改定により料金回収率も目標とする100%を超え、私費負担である汚水処理費用が使用料収入で賄えるようになった。</p> <p>今後も、上下水道事業を安定して持続していくために、ビジョンと経営計画に基づき計画的・効率的に事業運営を実施していく。</p>
--

戸田市 施策評価シート

作成日	平成30年06月13日	作成者名	山崎 康之	評価者名	安部 孝良
-----	-------------	------	-------	------	-------

5. 事務事業の検討 【特別会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名		事務事業評価の結果								★事務事業の方向性			H 31 予 算 額	事業費 うち 一般財源		
		事業コード		事業区分		H29決算額		H30予算額		評価結果				コメント				
						事業費	うち一般財源	事業の方向性	実施計画候補	施策への貢献度	経費水準	事業手法	受益・負担の公平性				事業の方向性	実施計画候補
		事業内容		H 31 計 画 額	事業費	うち一般財源	事業の方向性	実施計画候補	施策への貢献度	経費水準	事業手法	受益・負担の公平性	事業の方向性	実施計画候補			施策内優先度	
02 一般管理費 (上下水道経営課)																		
		受益者負担金賦課徴収事業			7,246											受益者負担については、引き続き周知に努め事業に対する理解を深める。	0	
	02	03	01	01	02	02	任意	1	B	B	B	B	1	B			0	
		受益者負担金の賦課・徴収を行う。受益者負担金システム			2,886													
					2,276													
01 長期債元金 (上下水道経営課)																		
		長期債元金			626,528												0	
	01	03	05	01	01	01	任意	-	-	-	-	-	-	予			0	
		起債の償還			598,214													
					239,111													
					414													
01 長期債利子 (上下水道経営課)																		
		長期債利子			175,909												0	
	01	03	05	01	02	01	任意	-	-	-	-	-	-	予			0	
		起債償還に伴う利払い			184,783													
					165,650													
					60,378													
					345													
xx 資産運用管理事業 (上下水道経営課)																		
		資産運用管理事業			978												0	
	00	70	xx	xx	xx	xx	00	義務	1	B	B	B	B	1	義		0	
		突発的な事態に備え、水道施設の賠償や建物・自動車等の			1,014													
					1,014													
					3,380													
xx 水道会計財務事業 (上下水道経営課)																		
		水道会計財務事業			191												0	
	00	70	xx	xx	xx	xx	00	義務	1	A	B	A	B	1	義	経営計画に基づいた適正な予算決算を実施していく。	0	
		当初(補正)予算の編成及び執行管理、決算管理、事業計			211													
					211													
					14,001													
xx 上下水道広報事業 (上下水道経営課)																		
		上下水道広報事業			1,278												0	
	00	70	xx	xx	xx	xx	00	任意	1	A	A	A	B	1	A	広報事業の持つ重要性を理解し、積極的な情報発信及び広聴を実施していく。	0	
		上下水道事業について市民等へ広報紙の配布・水道週間の			1,477													
					1,477													
					3,449													
xx 水道料金事業 (上下水道経営課)																		
		水道料金事業			107,747												0	
	00	70	xx	xx	xx	xx	00	義務	1	○	B	A	A	B	1	○	包括委託の中で適正に事業を実施し収納率の向上を目指す。	
		検針、調定、請求書の発行、集金等を行って水道料金の徴			125,343													
					118,873													
					118,873													
					13,794													
計 (千円)																		
					事業費	919,877	H29決算額	922,289	H30予算額	863,975	H31計画額	863,975	H31予算額	0				
					うち一般財源	438,452		464,131		423,950		423,950		0				

事業の方向性： 1 現状で継続 2 拡大して継続 3 縮小して継続 4 他事業と統合 5 休止 6 その他見直し
7 平成31年度で終了 8 平成30年度で終了 9 平成29年度で終了